

包装講座中級コース

(旧:新包材構成100問100答講座)

開講のご案内



TOYOBOKU
Beyond Horizons
教育講座

2025年度

1 開催日時・会場

東京会場

2025年 9/9(火)、10(水)、18(木)

9:30～17:00

住友商事京橋ビル 5F

(中央区京橋1-17-10)

大阪会場

2025年 9/3(水)、4(木)、5(金)

9:30～17:00

中央電気倶楽部

(北区堂島浜2-1-25)

2 受講料【消費税抜き】

※「新包材構成100問100答」が必要となります。

2022年04月より改訂版を使用中。2015年初版での持ち込み受講も可能です。

	テキスト ご持参	テキスト ご購入込み
会 員	60,000円	90,000円
一 般	75,000円	110,000円



※ 同時に同一会場へ2名以上お申込みの場合、1名につき 5,000円(消費税抜き)を割引いたします。

※ お申込みは全日程(3日間)のみとなります。

お一人で全日程受講できない場合、代理受講、複数様の交代受講も可能です。

3 定 員

東京会場 32名、大阪会場 18名 (お早めにお申込ください)

※7名以下のご参加の場合、中止または延期させて頂く場合がございます。

4 その他

■ 感染症拡大防止の為、種々対策を講じながらの開催となります。
「手洗い」や「マスクの着用」等、感染症予防対策へのご協力をお願い致します。

■ 受付締切日は、各講座開講10日前です。締切日以降のキャンセルはお受けできません。代理の方の出席をお願いいたします。

お申込要領

最終ページのキャンセルポリシーをご確認の上、
申込用紙に記入して頂き、FAXまたはメールにてお申込みください。

※申込書受領後、「受付完了案内」を送付いたします。

※開催の約1週間前に「当日案内・請求書」を送付します。

※受講料は請求書に記載の銀行口座に、請求書日付(講座開催日)～翌月末迄に
お振込み下さい。

※振込手数料は貴社にてご負担をお願い致します。

※尚、個人でお振込みの場合は、適宜に『会社名+氏名』もご記入ください。

※銀行振り込み明細書をもって領収書の発行に代えさせていただきます。

講座の特長・内容

- パッケージ全般の現場で生じる疑問に、Q&A方式で答えてまいりました、PPSベストセー「包材構成100問100答」を、より広い、新たな視点で全設問数152とした、『新・包材構成100問100答 一改訂版（2022年03月31日発行）』をテキストとして使用します。
- 当講座は新装版テキストから特に要求の高い100問を抜粋し、より詳しく解説する実践的な包装技術講座(3日間コース)です。基本から応用までの考え方が身につきます。
- 対象：入社5年ほど経験された営業・開発・技術・購買の方々及び包装関連ご担当者
- これまで受講された方々からは「長年の疑問が解消した」「実践的」「目から鱗が落ちた」「解り易い」「即役立つ」「営業活動に応用できる」といったようなお褒めのお言葉を頂戴しております。PPS教育講座の中で特に人気の高い業界オンリーワン講座です。
- 昨今の厳しい環境の時にこそ、打開の為にアクティブな人材育成が必要だと確信しております。
- 現場をけん引する方への「スキルアップ」、幹部候補の「キャリア形成」にも、ご活用頂けます。
- 基本から応用までの考え方が身につきます。



包装講座 中級コース の内容紹介

● 講座の内容

- 包材のベースにある考え方、技術等とこれまでのトラブル事例を取り入れ、出来るだけシンプルにご理解頂ける内容となっております。
- 実際の写真やサンプルなどを使用し解説させていただきます。
- 開発、開発営業及び日常の営業展開において、実践的で役立つ内容となっております。
- 講座ではテキスト1冊(153問)から100問を選出し、3日間で解説致します。
- 基本から応用までの考え方が身に付きます。

● 講義スケジュール

	内 容
1日目	基礎、特性、表基材フィルム、シーラントフィルム
2日目	バリアフィルム、ラミネート構成
3日目	フィルム加工、衛生性、他

『包装講座 中級コース』(旧:新包材構成100問100答講座)の内容紹介

1日目

1. 基礎

- ◇包材に使用されるプラスチックの種類とその特徴は？
- ◇プラスチック特性の基本:結晶性・非晶性の違いは？その構造と特性の違いは？
- ◇フィルムの呼び名とか構造式でフィルムの特徴が分かりますか？
- ◇フィルムの種類によって、なぜ酸素バリア性、透湿性、保香性、残留溶剤性が異なるのですか？
- ◇フィルムにコロナ処理はなぜするのですか？
- ◇フィルムを延伸すると物性はどのように変わりますか？

2. フィルム特性

- ◇フィルム特性(カタログ)の見方は？ 注意点は？
- ◇フィルム特性と実用特性との関連は？
- ◇各フィルムの使用可能な温度範囲は？
- ◇フィルム用添加剤のブリードアウト(ブルーミング)とは？
- ◇フィルムに使用する添加剤の種類は？
 - 滑剤や帯電防止剤はどのようなものか？
- ◇静防タイプフィルムの静電防止性の発現メカニズムは？
- ◇静電気トラブルの種類は？ 除電方法は？
- ◇耐ピンホール性とは？ ピンホールの種類と評価方法は？
- ◇ピンホールの原因(突刺・屈曲・摩擦磨耗)別の対策は？

3. 表基材フィルム

- ◇各素材の簡単な意味合いと特徴は？
- ◇PETフィルムはどんな用途に使うのですか？
- ◇ONYフィルムはどんな用途に使うのですか？
- ◇ONYのレトルト不良とは？
- ◇OPPはボイル用途に使用可能か？
- ◇静電防止タイプのOPPフィルムを使用してはいけない用途は？

4. シーラントフィルム

- ◇シーラント材の使い分けは？ 特にCPPとLLDPEの使い分けは？
- ◇同じLLDPEなのに、銘柄によってなぜ低温シール性が違うのか？
- ◇チルド食品や冷凍食品の包材にCPPが使えるか？
- ◇液体スープやアルコール飲料などの液体包装のシーラント材の選定は？



『包装講座 中級コース』(旧:新包材構成100問100答講座) の内容紹介

2日目

5. バリアフィルム

- ◇ONY、PVA、EVOHはなぜ環境湿度によりバリア性が変わるのですか？
- ◇バリア包材の使い分けは？
- ◇バリア性の計算は？
- ◇フィルム自体のバリア性とラミ後、製品を充填した後でのバリア性の変化は？
- ◇包装設計時に食品の水分活性値を意識する必要がありますか？

6. ラミネート構成

- ◇ボイル、レトルト処理される包装の注意点は？
- ◇レトルトパウチの構成は？
- ◇レトルト用でPET//AL//ONY//CPP と PET//ONY//AL//CPP の設計の違いは？
- ◇レトルトでONYを表素材にしないのは？
- ◇EVOH構成でのレトルト処理時の吸湿によるバリア性の低下は？
- ◇VM-PETのアルミ蒸着層はどちらに設定するのですか？
- ◇防湿包装で包材の防湿性はどれくらい必要ですか？
- ◇ガス置換包装でN₂、CO₂、O₂等のガスを使用するのはなぜですか？
- ◇脱酸素剤、ガス置換包装で包材のバリア性はどれくらい必要ですか？
- ◇冷凍食品包装での注意点は？
- ◇生鮮野菜・青果物の鮮度保持手法は？ 鮮度保持包装とは？
- ◇アルコール、酸、アルカリ、香辛料や有機溶剤等を包装する構成は？
- ◇粉体食品包装での注意点は？
- ◇キャンディの個包装に静防タイプのPETが使われる理由は？
- ◇水物(重袋)包装する時の包材設計の注意点は？(ノンボイル、ボイル、レトルト)
- ◇液体スープ用小袋の包材設計での注意点は？
- ◇食肉加工製品(ハム等)を包装設計する際の注意点は？
- ◇スタンディングパウチを設計するときの注意点は？
- ◇電子レンジ食品包装の基本設計はどうすればよい？
- ◇パッケージの機能で易カット性を要求されたら？
- ◇パッケージの機能でイージーピール性を要求されたら？
- ◇蓋材の構成を決める時の注意点は？
- ◇蓋材のカールを防止するにはどういう構成にしたらいですか？
- ◇蓋材でONY-インキ//ONY//シーラントの構成でなぜONY//ONY構成なのですか？
- ◇シール強度、温度、(時間、圧力)と包装速度の関係は？
- ◇シーラントの厚みはどうして決めるのですか？
- ◇耐ピンホール性を上げるには？(素材、厚み、ラミネート方式)
- ◇腰のあるラミネートフィルム構成は？
- ◇日用品包材への要求機能とその包材構成は？
- ◇化粧品・トイレタリー製品包材への要求機能とその包材構成は？
- ◇医薬品包材への要求機能とその包材構成は？

『包装講座 中級コース』(旧:新包材構成100問100答講座)の内容紹介

3日目

7. フィルム加工

- ◇処理用インキで印刷する時は何mN/m以上が必要か？
- ◇印刷工程で起き易いトラブル例とその対策は？
- ◇ドライラミと押出ラミの使い分けは？
- ◇カールはドライラミと押出ラミでどちらが大きいですか？また耐ピンホール性は？
- ◇ノンソルラミの特徴は？
- ◇ノンソル、PEサンドはボイルできるか？
- ◇透明蒸着PETをラミする場合、ドライラミがよいか？押出ラミがよいか？
- ◇ラミネートフィルムでシール不良が発生する原因にはどんな場合があるか？
- ◇超音波シールは大半のフィルムに適用でき、高周波シールは特定しか使用できないのは？
- ◇2液混合型ドライラミネートでの透明性不良の原因は？
- ◇ドライラミネートでのトラブル発生事例とその原因は？
- ◇押出ラミネートするとき、なぜACしなければいけないのか？
- ◇押出ラミでシール強度が出にくいときは何が考えられますか？
- ◇押出ラミネートでのトラブル事例とその原因は？
- ◇シールのエッジ切れの原因と対策は？
- ◇密封性の評価方法は？
- ◇製袋機での製袋トラブル例と対策は？
- ◇自動製袋充填包装機でのトラブルと対策は？
- ◇サイドシール袋の内面コロナ処理が駄目な訳は？
- ◇ONY使用のレトルト製袋品でS字カールが発生するのは？
- ◇充填包装機でのトラブルとその対策は？

8. 衛生性、他

- ◇食品によって、法規制や自主規制のある包材は？
- ◇包材のにおいの原因は？

- お申し込み先(両会場とも): 東洋紡PPS ヘッドオフィス 宮口、遠藤 宛 FAX.06-6348-1875
E-mail: (宮口宛)yoshinori_miyaguchi@grp.toyobo.co.jp、(遠藤宛)takuro_endo@grp.toyobo.co.jp

2503

社名				
住所	〒			
連絡先	TEL		FAX	
受講者	所属		役職	
	氏名	フリガナ()	E-mail	
申込者 * 受講者と同じの場合は記入不要です	住所			
	TEL		FAX	
	所属		役職	
	氏名		E-mail	
会場	東京	大阪		※それぞれ該当するものに○をしてください。
	9月 9(火)、10(水)、18(木)	9月 3(水)、4(木)、5(金)		
テキスト	持参	購入		
PPS会	会員	一般		

●お問合せ先

本講座についてご質問、ご不明な点などございましたら、下記担当までお問合せください。

両会場とも 宮口、遠藤 TEL. 06-6348-1363

お申込みについて

- ・次ページのキャンセルポリシーをご確認の上、FAXまたはメールにてお申込みください。
- ・開催約1週間前に「当日案内、請求書」を送付致します。
- ・受講料は請求書に記載の銀行口座に、請求書日付(講座開催日)～翌月末迄にお振込み下さい。
- ・振込手数料は貴社ご負担でお願い致します。
- ・個人でお振込みの場合は、摘要に『会社名+氏名』もご記入ください。
- ・銀行振り込み明細書をもって領収書の発行に代えさせていただきます。

■個人情報の取扱いについて

ご記入頂いた個人情報につきましては、以下の目的の範囲で取り扱います。

- ・参加申込の受付、参加確認、ご案内、請求書等の送付
- ・自社発行書籍及びデータ情報、他社発行業界情報書籍等のご案内
- ・セミナー、教育講座、ツアー等のイベント情報のご案内
- ・弊社及び東洋紡グループ会社からの有益情報のご案内

お申込みにあたり、下記事項をご了解・ご確認のうえ、お申込みくださいますようお願い致します。

キャンセルポリシー

<キャンセルについて>

- (1)お申込後、貴社のご都合によりキャンセルされる際は必ず弊社までご連絡ください。
- (2)受付締切日は、各講座開講10日前です。締切日以降のキャンセルはお受けできません。
- (3)当日都合が悪くなり受講できなくなった場合、代理の方の受講も可能です。
* 代理の方が受講される場合、事前に弊社までご連絡ください。
- (4)締切日以降のキャンセル及び連絡無しでの当日不参加の場合は、キャンセル料として受講料全額のご負担をお願い致します。

<開催を中止または延期する場合>

- (1)弊社の都合により(開催人数未達の場合など)開催を中止する場合、請求書発行前の段階でメール、またはお電話にて連絡致します。
- (2)暴風雨、地震、津波等の天変地異、戦乱、暴動、官公署の命令、公的交通機関の運行中止や遅延、病災害の発生など、弊社の関与し得ない事由が生じた場合において、安全かつ円滑な開催が困難と判断した場合は、開催当日であっても、主催者判断において開催を中止または延期することがあります。
- (3)やむを得ない事情での講師の欠席(死亡、病気・怪我、事故、交通トラブルによる遅刻など)があった場合、開催当日であっても、主催者判断において、開催を中止することがあります。
- (4)上記(2)(3)の理由によってセミナーを中止または延期する場合、メール、またはお電話にて速やかに受講者様にお知らせいたします。(弊社HPにも掲載いたします)
※念のため、開催の前日・前々日には、弊社HPおよび弊社担当者からメールが来ていないかのご確認をお願いします。
※開催当日にご入金頂いていた場合のご返金対応につきましては、個別にご連絡致します。
- (5)上記の理由によって開催を中止または延期した場合、それに伴って生じた参加者の損害(交通費など)について、当社は一切負担しないものと致します。

お問合せ先

本講座についてご質問、ご不明な点などございましたら、下記担当までお問合せください。

両会場とも： 宮口、遠藤 TEL(共通):06-6348-1363